

2021年度～2023年度 第4期3力年計画の基本視点



一般社団法人 Jミルク
Japan Dairy Association (J-milk)



第4期3力年（2021～2023年度） 中期計画の基本視点



酪農乳業の次の10年をつくるために

目標

成長性・強靱性・社会性を備えた、 力強く成長し信頼される持続可能な産業の構築

提言

力強く成長し信頼される持続可能な産業を目指して
～我が国酪農乳業の展望ある未来に向けた戦略ビジョン～

提言

力強く成長し信頼される
持続可能な産業を目指して
わが国酪農乳業の展望ある未来に向けた戦略ビジョン



j-milk 一般社団法人 Jミルク



「戦略ビジョン」4つの行動計画



1. 酪農生産基盤の強化
2. 需給・流通の安定と競争力の強化
3. 国産品市場の拡大と需要基盤の確立
4. 多面的価値と持続可能性の改善・強化





業界が一丸となって取り組むために ～Jミルクのミッション～



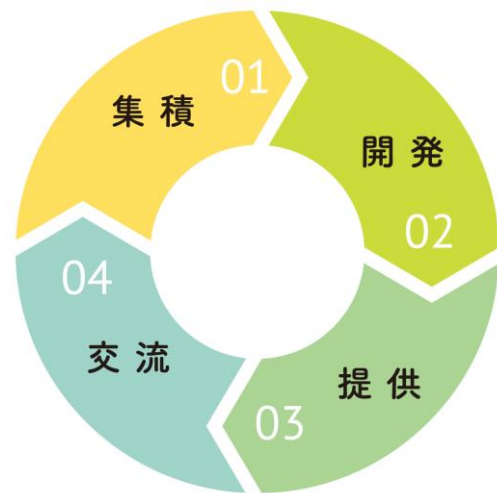
業界が一丸となって取り組むために…

1. 情報交流と協働の基盤となる「情報プラットフォーム」機能
2. 全ての関係者が納得できる、透明性のある合意形成プロセスの構築と管理

NEW

Jミルクのミッション

「酪農乳業及び牛乳乳製品の存在価値を高めるため、情報の集積・開発・提供・**交流**を促進することを基本に、共通課題の解決に貢献する」





4つの事業推進フレーム



1. 質の高いオリジナルな情報開発

研究者や
専門機関との
ネットワーク

調査・データ
分析



2. 迅速で効率的な情報コミュニケーション

アーカイブズ化

デジタル化





4つの事業推進フレーム



3. 議論や交流を促進する共創型の取り組み



4. PDCAサイクルによる事業の改善

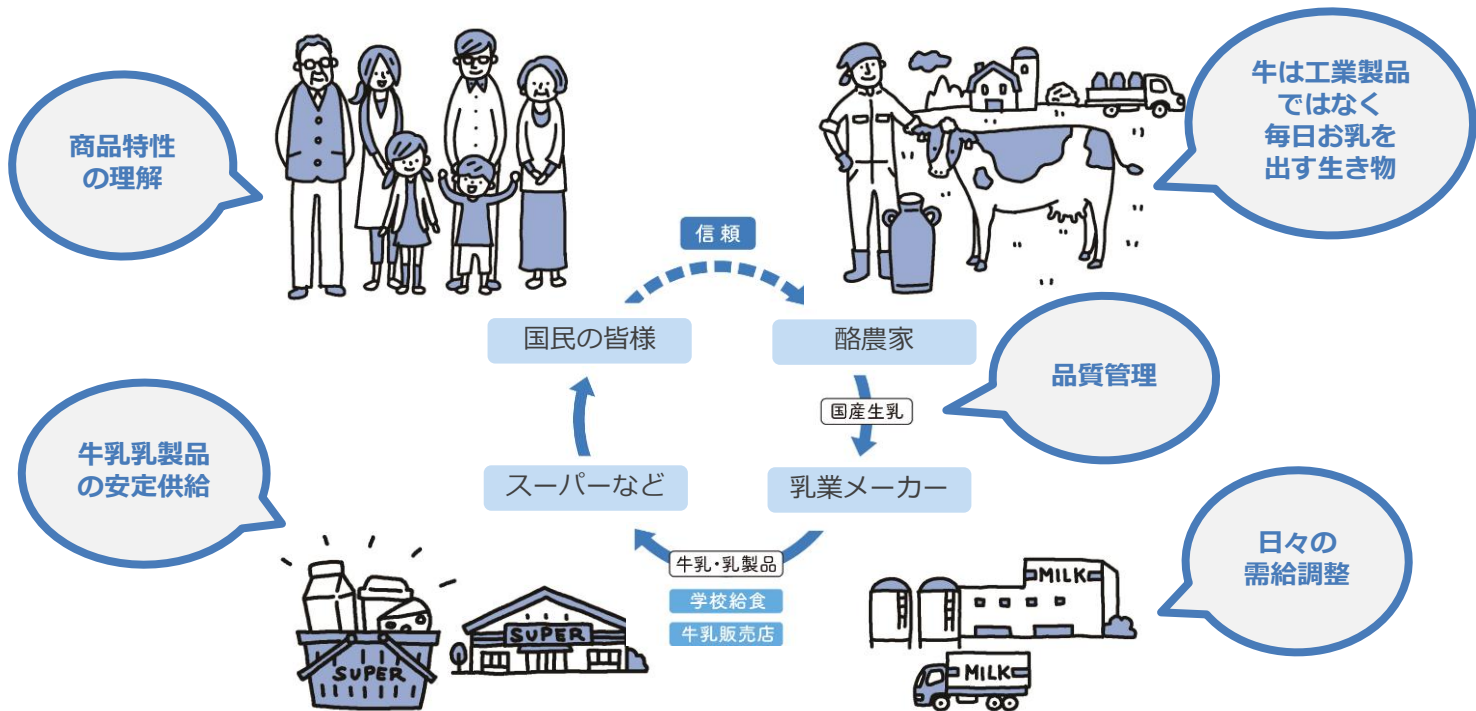




3つの情報コンセプト



1. ミルクサプライチェーンの特徴



商品特性
の理解

牛は工業製品
ではなく
毎日お乳を
出す生き物

信頼

国民の皆様

酪農家

品質管理

国産生乳

牛乳乳製品
の安定供給

スーパーなど

乳業メーカー

日々の
需給調整

牛乳・乳製品

学校給食

牛乳販売店



3つの情報コンセプト



2. 酪農乳業の産業的な価値

1. 乳用牛を通して利用不可能な草資源を効率的に活用し、栄養豊かな食料を再生産
2. 農地、飼料、牛、堆肥という生産サイクルを生かして、地域農業の物質循環や有機農業に貢献
3. 荒廃農地の有効活用や景観の保全、農村地域の雇用など、豊かな地域社会の形成と経済活動に貢献
4. 多くの人が活躍できる環境があり、教育の場としても活用できる優れた社会的機能





3つの情報コンセプト



3. 食品としての牛乳乳製品の価値

1. 牛乳乳製品は全てのライフステージにおける食生活の課題や栄養ニーズに対応
 - 子どもの健全な成長
 - 免疫機能の低下抑制
 - 高齢者のフレイル予防
 - 高血圧や血糖値の急激な上昇、肥満などの対策
 - 糖尿病やメタボなどの予防
2. 植物性食品と動物性食品をバランスよく組み合わせた日本型食生活にも欠かせない存在





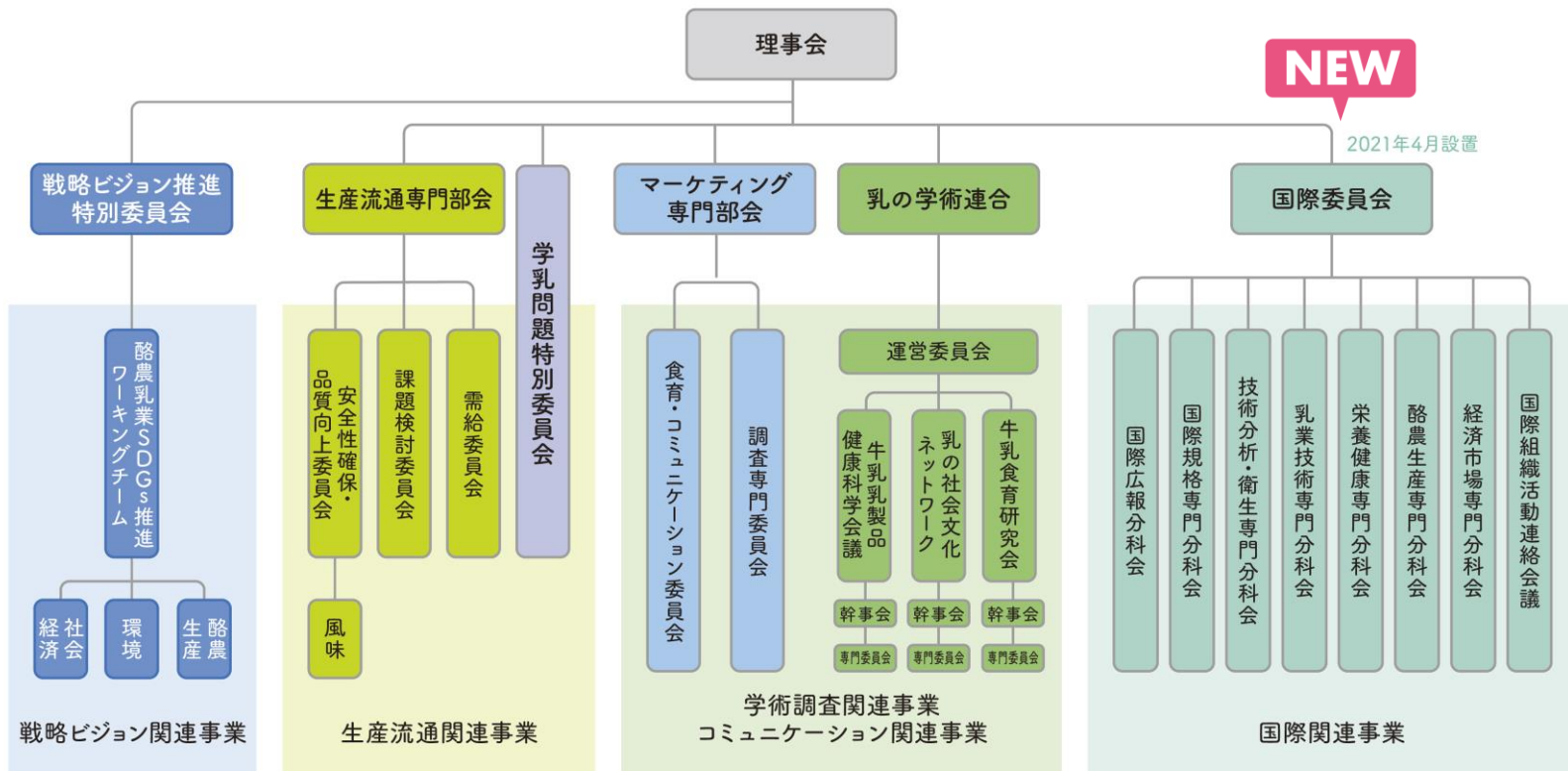
ミッション遂行を支える

新しい運営体制





ミッション遂行を支える「新しい運営体制」



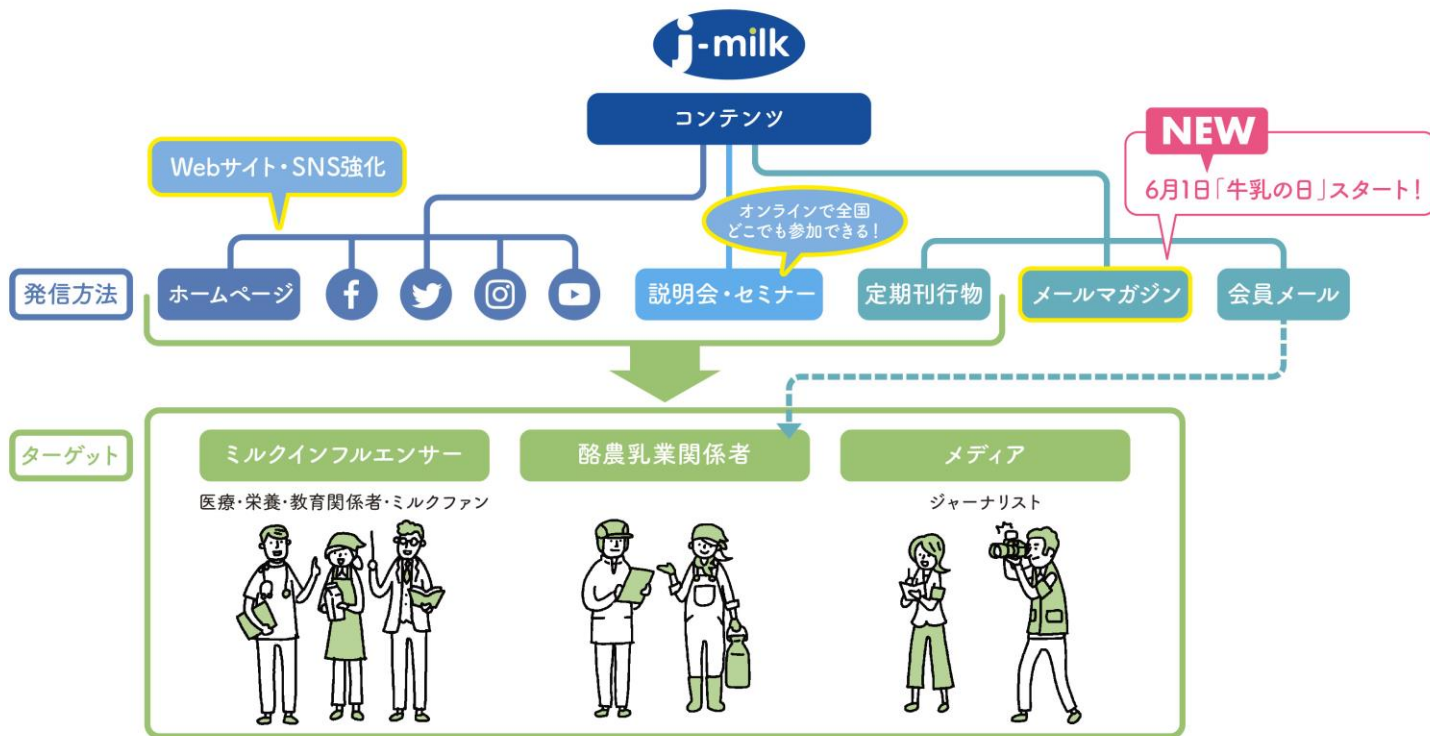


コミュニケーションチャンネル





コミュニケーションチャネル





さらに詳しく
知りたい

こんな**情報**
がほしい

「さらに詳しく知りたい」「こんな情報がほしい」等、

お気軽にご連絡ください。

コミュニケーショングループ

✉ : info@j-milk.jp

✉ info@j-milk.jp

🌐 <https://www.j-milk.jp>

📘 <https://www.facebook.com/jmilkjp>

📷 [j_milk_official](#)

🐦 [@Jmilkofficial](#)

📺 YouTube公式チャンネル

